

1 この科目の構成について

教 科	国語科	科 目	現代文	単 位	3単位
対象コース	情報ビジネスコース	対象クラス	3年7組		
使用教科書	高等学校 現代文B(第一学習社)				
使用副教材					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
	近現代のすぐれた文章を読み、ゆたかな鑑賞力と柔軟な表現力の育成を目指します。正確な知識と客観的な読解のもと、「書く力」「話す力」を養い、総合的な国語力を磨きます。また、現代社会に潜む様々な問題について多角的に考える力を高めます。
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
	以下の二つの分野を学びます。 (1) 現代の評論文…客観的思考力、問いに対して正確に答える能力を身につけます。 (2) 近現代の文学的な文章…すぐれた文学作品を読み解き、豊かな言語表現力を身につけます。
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
	(1) 学校 授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。正答に至るまでの思考の手順をノートに書きためましょう。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。 (2) 家庭 家庭学習の時間は、暗記とドリル学習にあてましょう。知識を定着させる場が家庭学習です。家庭で得た知識を用いて授業で思考することが、最も効果的な学習方法となります。

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何を使って評価するのか—
	(1) 定期考査→年5回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。 (2) 小テスト→年間を通して漢字テストを実施します。 (3) 長期休暇中の課題→読書感想文、現代文の演習問題を宿題として課します。 (4) 学期中の課題→授業理解の確認のための宿題を課します。
評価における定期考査の割合	
70 %	

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
	(1) 関心・意欲・態度 問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。 (2) 思考・判断 合理的であるかが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。 (3) 技能・表現 口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。 (4) 知識・理解 定着度だけでなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。

5 この科目の学習計画について（3年情報ビジネス）

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—		重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知
1	4	小説（二） 「タオル」 重松 清	さまざまな性格の作品に触れることで、読解力を深め、小説に対する関心を高めます。文体・描写・構成に着目し、言語表現の豊かさ、面白さを味わい、多様な解釈を試みることで各自の読書行為へと反映、発展させます。 道徳教育を実施	●	●	●	●
	5	評論（一） 「未来世代への責任」 岩井 克人	論理的な文章を読む基礎的な技術の習熟を目指します。文章の論理展開を把握し、一般的な常識とは異なる筆者の主張を理解します。またそれについて自分なりの意見を持ち、今後の考え方に反映させます。 道徳教育を実施	●	●		●
	6	評論（三） 「身体の個性」 浜田 寿美男	論理的な文章を読む基礎的な技術の習熟を目指します。文章の論理展開を把握し、一般的な常識とは異なる筆者の主張を理解します。またそれについて自分なりの意見を持ち、今後の考え方に反映させます。	●	●	●	●
2	7	評論（三） 「目に見える制度と見えない制度」 中村 雄二郎	論理的な文章を読み解くための基礎的な技術を身につけます。文章の論理展開の型を把握しながら筆者の主張を的確に読み取り、それをふまえながら自分なりの見解を持てるようにします。また、自明だと思われる事柄に対して、その自明性を問い直す高度な抽象的思考力を身につけます。 道徳教育を実施	●	●		●
	8						
	9	評論（二） 「いのちのかたち」 野矢 茂樹	論理的な文章の構成、論の展開を正確に把握して、要旨を的確に捉える。表現の特徴に注意し、筆者の主張湯帳や思想を理解する。西洋語の訳語と既存の日本語の違いを押さえ、本質的な問題を考える。	●	●	●	●
3	10	詩 「足と心」 中桐 雅夫 「冬の日」 以倉 紘平 「自然の背後に隠れて居る」 萩原 朔太郎	近代詩、現代詩の鑑賞のしかたを確認し、より深めていく。近代詩や現代詩の中に織り込まれた、様々な世界認識の方法や枠組みについて学ぶ。	●	●	●	
	11	小説（二） 「舞姫」 森 鷗外	古典的な名作を読み、登場人物の心情の揺れに密着して小説を読む方法を学びます。語句の意味を正確にとらえ、明治文語文ならではの美しい描写や表現に触れることによって言語感覚をみがきます。 道徳教育を実施	●	●		●
	12						
	1						